

愛知県臨床検査技師会 2026 年 7 月輸血検査研究班 基礎講座（基本コース）

開催日時：令和 8 年 7 月 25 日(土)9:00～13:00

開催形式：現地開催

開催場所：名古屋市立大学医学部基礎教育棟 4 階微生物実習室

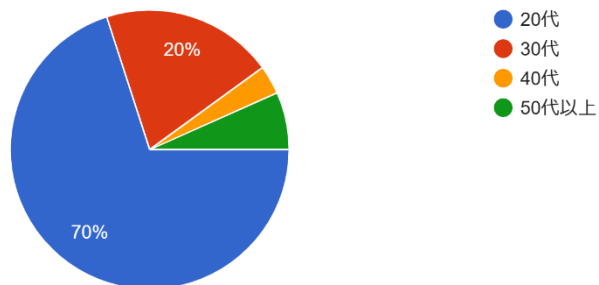
テーマ：「輸血検査の基本手技を学ぼう」

参加人数：30 名（県内 29 名、県外 1 名）

アンケート回答数：30 名（回収率：100%）

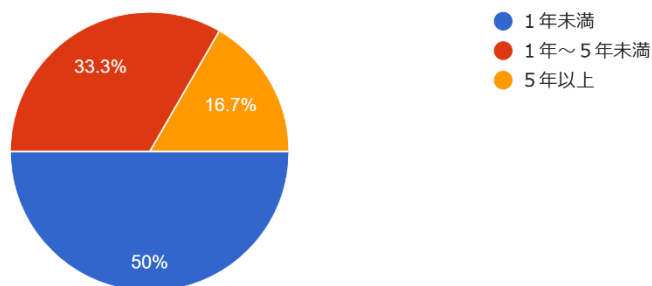
1.年代は？

30 件の回答



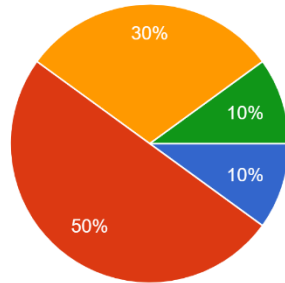
2. 輸血検査の経験年数はどれくらいですか？

30 件の回答



3. 輸血検査にどのように従事していますか？

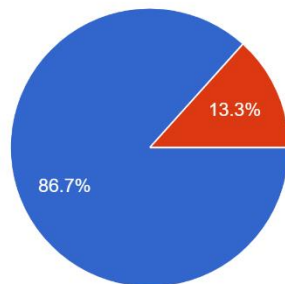
30 件の回答



- 専任
- 兼任
- 日当直のみ
- 輸血検査に従事していない（入職したばかりで今は部署のローテーション中など）

4. 基本操作・凝集判定について

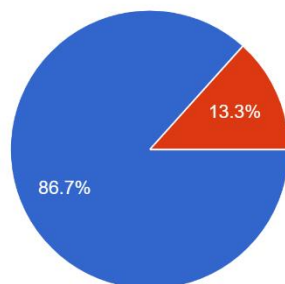
30 件の回答



- 大変理解できた
- 理解できた
- 難しかった

5. 血液型検査について

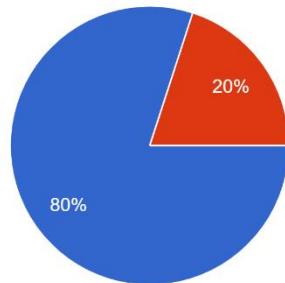
30 件の回答



- 大変理解できた
- 理解できた
- 難しかった

6.交差適合試験について

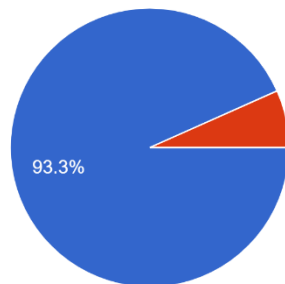
30 件の回答



- 大変理解できた
- 理解できた
- 難しかった

7.あなたの期待と実習内容は一致しましたか？

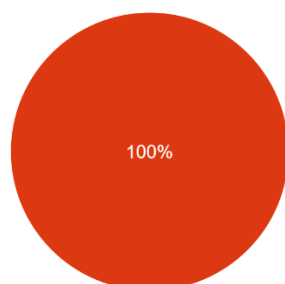
30 件の回答



- 期待通り
- まあまあ期待通り
- 少し期待外れ
- 期待外れ

8.実習時間はどうでしたか？

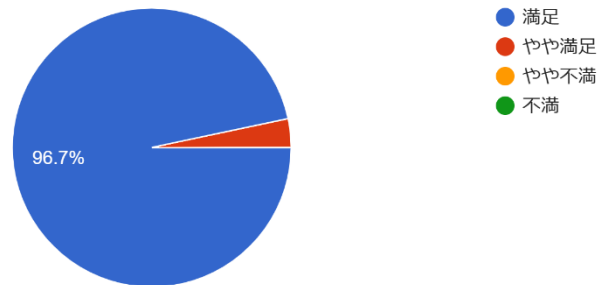
30 件の回答



- 長い
- ちょうど良い
- 短い

9-1.基礎講座全体を通して満足されましたか？

30 件の回答



9-2.そう思われた理由について記載をお願いします

- ・ 凝集の見方など基礎から教えてもらえて大変勉強になりました。
- ・ 一つ一つ何故そうなるのかを細かく教えていただいたので、今までマニュアル通りにあまり理解せず行っていましたがこれからは意味を持って理解した上で検査できると感じたからです。
- ・ 大学の授業や教科書だけでは背景の観察が苦手だったのですが、今回の講座でしっかり学ぶことができました。
- ・ 受講生 2 人に対して 1 人講師の方がついてくださったので質問しやすく、資料も丁寧に準備してくださっていたので、基礎が不安な状態でも理解しやすい環境だったなと感じました。ありがとうございました。
- ・ 普段出会えない mf などの異常に触れることができた。
- ・ 普段見られない、凝集を確認することができて、今後に繋がると感じました。
- ・ 自分の手技の癖だとかも教えていただきました。
- ・ 研究班の方が人グループに 1 人ついてくれてわかりやすかった。
- ・ 2 対 1 で教えてくださったのがありがたかった。
- ・ 説明もわかりやすく、丁寧に指導されていた。
- ・ 近くで先生に見ていただいて、より細かい所まで知識がついた。
- ・ 基礎的な手技を他施設の先生に見てもらい、フラットな評価を貰えたから。
- ・ 先生役の方がたくさんいてくださったので、聞きやすかった。
- ・ 実務委員の大変素晴らしいご指導のおかげで非常に有意義な時間を過ごす事が出来ました。
- ・ 普段実施しない試験を実施できて勉強になりました。
- ・ 解説の後すぐに手を動かして視覚でも内容を理解することができたから。
- ・ 輸血検査において不安だったところや、忘れていたことを覚えることができ、実際の業務中に遭遇する可能性のあることを教えていただけたため、とても勉強になりました。

- ・ 部分凝集が確認できた。
- ・ 基礎の基礎から詳しく教えてくださった。
→貴重なご意見をありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。

10.質問がございましたら記載をお願いします

- ・ 輸血検体保存についてお聞きしたいです。当院では、輸血をする際、輸血保存の依頼をし、血清を保存しています。輸血保存依頼なし、かつクロスマッチで使用した検体を、血漿、血球を分離せずにそのまま凍結している施設があると聞いたことがあります。感染症遺伝子検査をするだけなので、解凍時に溶血しても問題ないとのことようです。何か情報ありました、教えていただけると助かります。
→輸血療法実践ガイドの「3 輸血の実施体制の在り方 d) 患者検体の保存」には、輸血による感染事例の遡及調査に備え、輸血前の患者血液を-20℃以下で2年間を目安に保存することが推奨されると記載があります。血漿または血清での保管が一般的だと思います。全血のまま凍結保存していると、解凍時は強溶血となると思います。強溶血の検体で検査が実施できるかどうか、また、その検査結果の保証等ご回答できかねます。また、クロスマッチの検体を全血で凍結保存するタイミングはわかりませんが、赤血球型検査（赤血球系検査）ガイドライン（改訂5版）には、「2.4.2. 輸血後に発症する可能性のある溶血性輸血反応」の原因調査のため、一般的には、検査に使用した残余検体を、検体の提出日から7～14日間冷蔵庫内に保管することが望ましい」と記載があります。

11.意見や今後取り上げて欲しい実習内容等がございましたら記載をお願いします。

- ・ 今回のmfのような、いろいろな異常症例をたくさん経験できるような内容をお願いしたいです。
- ・ 止血検査と合わせた対応など興味があります。
→貴重なご意見をありがとうございます。今後の参考にさせていただきます
- ・ 製剤の管理についてどのように行っているのか、ミスを防ぐ為にどのような取り組みを行っているかを見学できる機会が欲しいです。
→6月の研究会では例年、製剤管理をテーマとして取り上げています。ぜひご参加ください。